

# ワイヤレスブロードバンドシステムの今後の展望、実現するための課題、 国内外の動向等に関する意見について

---

2010年6月22日(火)

KDDI株式会社

# ワイヤレスブロードバンドの今後の展望

## PCインターネットのアプリケーションが携帯環境にシフト 携帯電話とPCとの融合化が進展

携帯電話端末の進化  
スマートフォンの台頭

大容量コンテンツ  
音楽(着うたフル)  
動画(EZムービー)

CGM/UGC  
動画(YouTube)  
SNS/ブログ(GREE)

データ料金定額制  
の普及

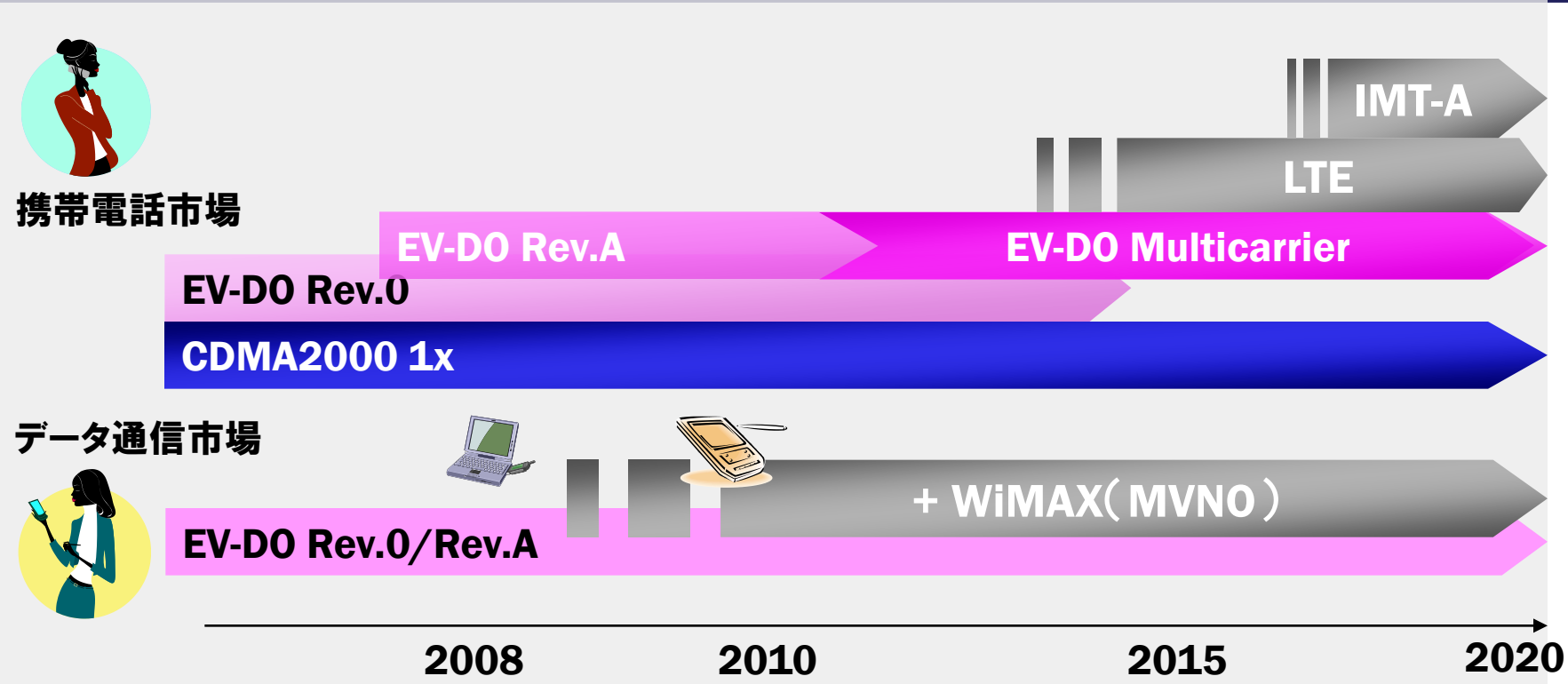
### FMC & モバイルネットワークのクラウド化



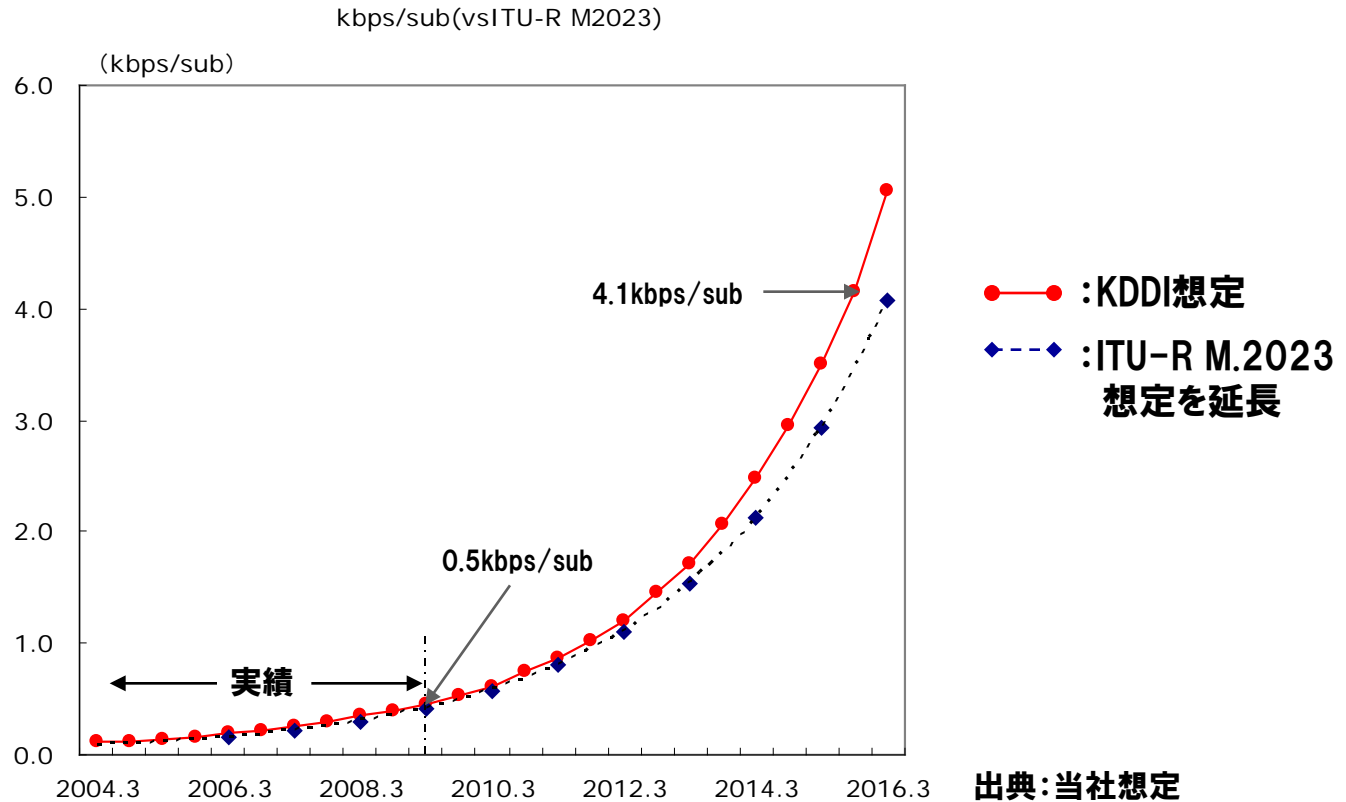
モバイルデバイスの多様化

# ワイヤレスブロードバンドの今後の展望

携帯電話とPCとの融合が進行し、  
 携帯電話のトラフィックは今後益々増大すると予想  
 当社はEVDO方式のマルチキャリア化やLTE方式の導入による  
 周波数の有効利用を図る



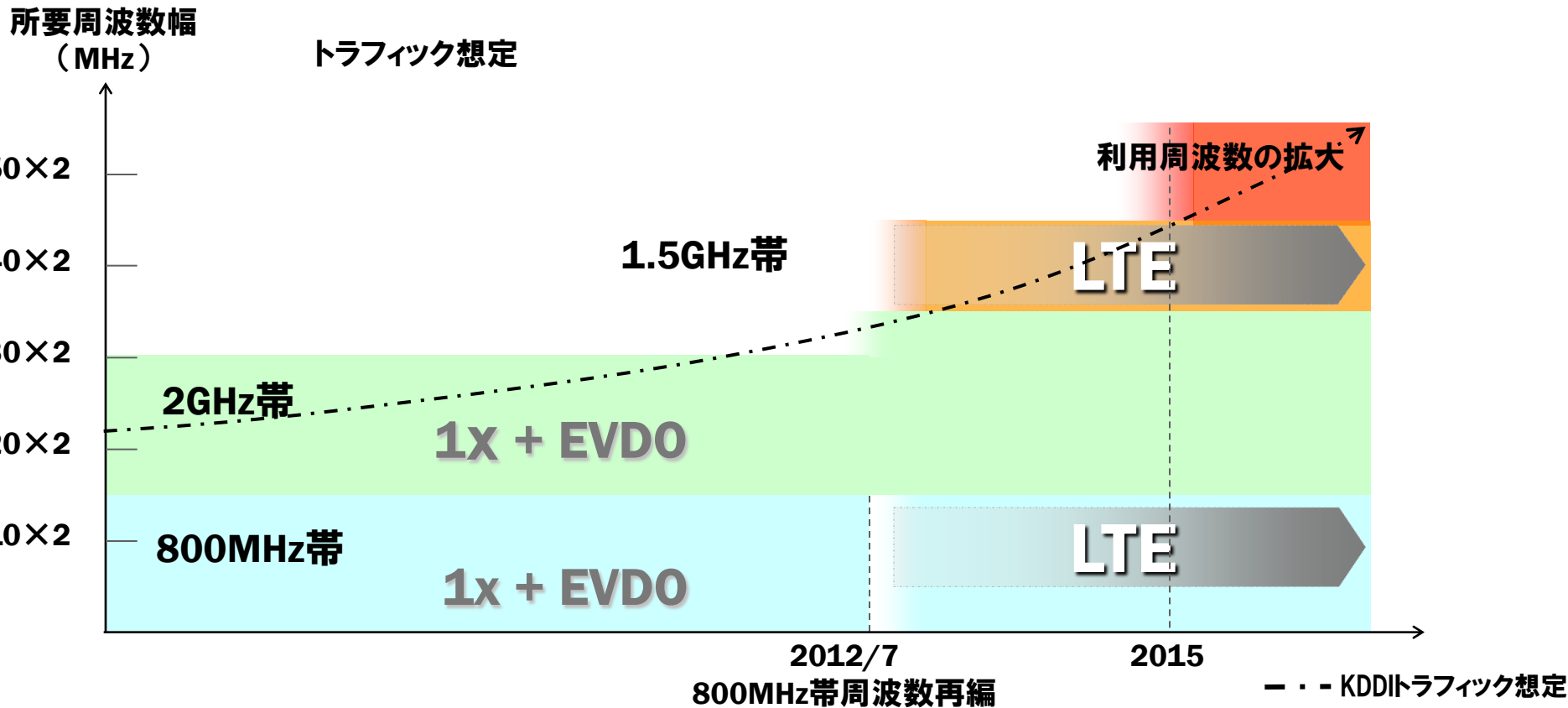
# 携帯電話トラフィック想定



携帯電話とPCとの融合やクラウド化が進むことで、  
携帯電話のトラフィックは今後も増大が続くものと予想  
「ITU-RレポートM.2023」想定以上に伸張する可能性を秘める

# ワイヤレスブロードバンドを実現するための課題

現状のトラフィック予想では、2015年ごろに保有周波数の限界をむかえ、  
 インフラ構築の期間を考慮すると、新たな周波数帯や導入方式など  
 2015年より前に一定の目途をつけておくことが必要



- ・ 携帯電話とPCとの融合やクラウド化が進むことで、携帯電話のトラフィックは今後も増大が続くものと予想され、当社ではEVDO方式のマルチキャリア化やLTE方式の導入による既存周波数の有効利用を図ることとしておりますが、2015年ごろには新たな周波数が必要になると予想しております。
- ・ 今後、LTEやIMT-Advancedなどの新たな技術を導入するワイヤレスブロードバンド環境の整備にあたっては、基地局インフラの構築期間と新技術対応端末の普及速度などを考慮のうえ、周波数の割当てや免許方針の策定を進めていただくことを希望します。

## 関連する国内外の動向と課題

- ・ 現在の携帯電話用800MHz帯については、周波数割当て方針に従い既存の携帯電話事業者らが自らの努力で周波数再編事業を進めてきました。この結果、2012年7月には800MHz帯は国際ハーモナイズを考慮した周波数配置となります。
- ・ 地上波TV放送のデジタル化に伴うUHF帯の周波数再編は世界的に進められており、日本における新たな周波数の割当てにあたっては、800MHz帯と同様に国際的な周波数ハーモナイズを考慮することで産業競争力が高まると考えます。
- ・ したがって、700MHz帯/900MHz帯の割当てにあたっては、それぞれの帯域内でペアバンド（FDD方式）とすることが好ましいと考えます。
- ・ 市場動向の変化を受け、ワイヤレスブロードバンド需要に応える所要周波数幅や再編規模などを考慮し、全体最適となる計画の策定が必要と考えます。